

# クラウドと要求工学 ～補足資料～

Group-16

2008MI148 森下 月菜

2008MI284 米澤 麻衣子

# 目次

---

## ■ 要求工学

- ◆ ソフトウェア要求の重要性 (p.10の補足)
- ◆ 要求定義の難しさ (p.11の補足)
- ◆ スパイラル型モデル (p.14,15の補足)

# ソフトウェア要求の重要性(p.10の補足)

- ◆ 利用者が望んでいることが要求に反映されていない
- ◆ ソフトウェア要求を汲み取ったものが誤っている

補足

ソフトウェア要求はあくまでユーザの要求そのものであるもので、それを「汲み取ったもの」が誤っているとしない、「ユーザが誤った要求をしている」という誤解を招く。

- ◆ ソフトウェア開発のやり直しが発生
- ◆ 要求の除去作業が必要

- ◆ 開発コストの増加
- ◆ 開発スケジュールの遅れ
- ◆ 開発プロジェクトの失敗

ソフトウェア要求を的確に  
把握することが開発の重要な  
ポイント

# 要求定義の難しさ(p.11の補足)

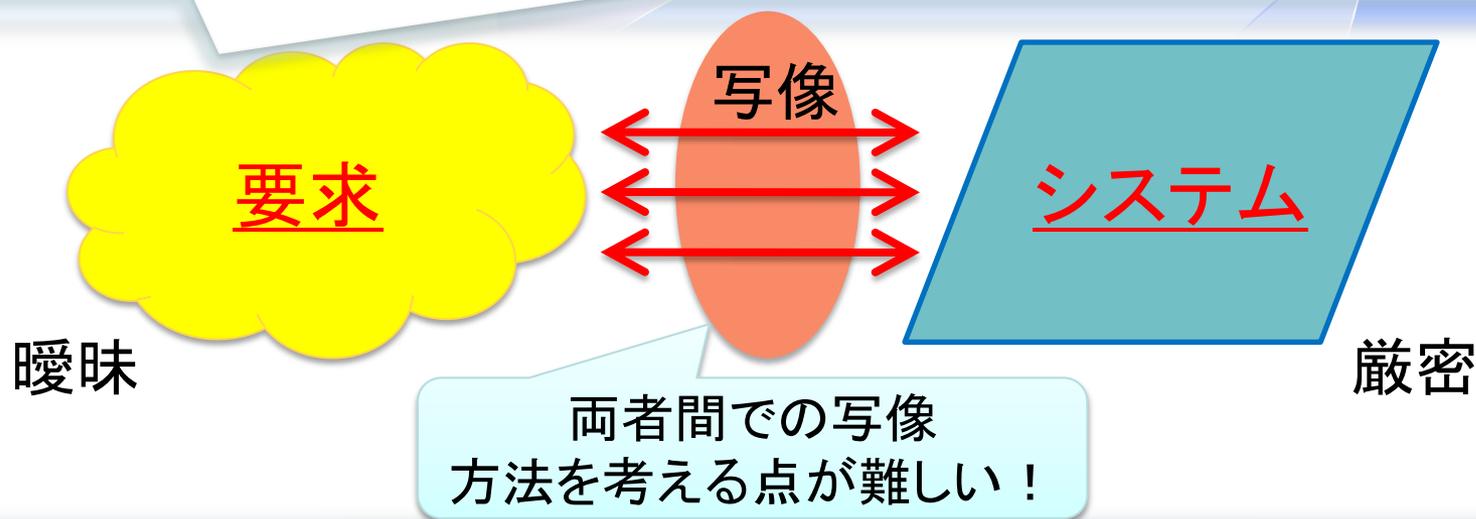
## ■ 要求定義

1. システム化の対象となる領域が抱えている問題を理解する
2. その問題を解決するための方法を発見する
3. ソフトウェアを使って実現するための方法を定義する

## ■ 難しさの原因

- ◆ 同じ対象のソフトウェア化でも、対象が置かれた状況によって定義が異なる
- ◆ 曖昧なものから厳密なものにまで至る問題を扱う

**補足** 前半でクラウドの説明をしていたので、仮想世界＝雲のイメージがある。  
仮想世界ではなく、システムが四角く厳密なものであるとすると多少分かり易い



# スパイラル型モデル(p.14,15の補足)

